

# 私たちの生活と環境

～酸性雨と自分の生活との関わりについて考えよう～

<b>校種・学年</b>	小学校・第6学年	<b>教科等</b>	総合的な学習の時間
<b>時間・学期(月)</b>	10時間・前期(5月)	<b>副読本</b>	P5
<b>準備等</b>	写真資料・実験道具(酸性雨作成装置、ビーカー、ガスコンロ)		

## 1 わらい

酸性雨について考え、私たちの生活を見直そうとする態度を育て、環境と自分の生活との関わりについて考えられるようにする。

## 2 伸ばしたい資質・能力

- 身近な環境問題について考え、自らできることを考える力
- 環境問題に関心を持ち、調べていく課題を設定する力
- CO<sub>2</sub>の排出量増加によって起こる環境問題について考える力

## 3 指導計画(全10時間)

時間	主な学習活動・内容等
2	・課題設定(酸性雨の実験・課題の決定)
5	・調べ学習(インターネットを使って調べる。)
3	・まとめ(しおり等にまとめる。)

## 4 本時の学習指導(1/10)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
5	○「STOP!地球温暖化」を読んで排気ガスと地球温暖化の関係について知る。 ○学習問題について考える。	○工場や自動車、発電所の排気ガスの写真を提示する。
20	排気ガスは雨をどのように変化させるだろうか。	★地球温暖化の影響の実例。
15	○実験を見て、酸性雨について知る。	○排気ガスと木を燃やした煙に水を入れて、BTB溶液の色変化を比べさせる。
5	○酸性雨の生活への影響について話し合う。 ○振り返りをする。	○自分たちの生活への影響について考えさせる。

## 5 他教科等とのつながり

- 6年生理科「ものの燃え方」
- 6年生社会「縄文の村から国へ」

## 6 社会とのつながり

- 自動車の排出ガス量への関心を高める。
- エコライフデーの取り組みの喚起。

## 7 おすすめのポイント(さらに、効果アップ!)

- 授業前後で、CO<sub>2</sub>排出による環境問題について知っていることを書かせることで、授業前後での変容を子供たちが実感できるようにする。
- 実際に降った雨の性質を調べることで、酸性雨を身近なものとして捉えられるようにする。
- 排出ガスと割箸を燃やした空気の雨への影響を比較することで、燃やすものによって環境への影響の大きさに違いがあることに気づかせるようにする

## 8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など

- 排気ガスを含んだ雨が危険なものになると分かり驚きました。
- 地球温暖化以外にも、環境問題があると分かりました。
- 酸性雨が石を溶かす液体と同じ性質のものだと分かりました。

## 9 研究協議の内容

- 冊子を見ながら、地球温暖化の影響についてみんなで確認したことで、自分たちの問題としてとらえられた。
- 排気ガスと木を燃やした空気で、雨に与える影響について比較したことはよかった。
- 自動車から実際に排気ガスを採取しているところを見せたことで、臨場感があった。